

# カカオの調達について



Glicoグループは、「Glicoグループ調達方針」に基づき、カカオの調達について以下の通りコミットします。

## 【コミットメント】

Glicoグループは、カカオが抱えている社会課題（児童労働、農家の貧困、森林伐採など）に配慮し、持続可能な方法で生産されたカカオの調達を推進します。

## 【主な取り組み】

- Glicoグループは、2021-2022年クropp以降、購入ルートを通じて生産者に支援を行っているカカオ豆の購入率を100%とします。
- ガーナにおいて以下4つの現地支援プログラムを実行します。
  1. 2026年末までに、Assin Fosu地区でGlicoがカカオ豆を購入している村において、Child Labor Free Zone（CLFZ）認定要件に準じた児童労働予防・改善の仕組みを構築します。
  2. 2025年末までに、Assin Fosu地区でGlicoがカカオ豆を購入している村において、現在学校に通えていない子供たちの全員が学校に通える環境を整備します。
  3. 2025年末までの間において、Assin Fosu地区でGlicoがカカオ豆を購入している村に対し、基礎インフラを整備するための支援を継続的に行い、人々のより良い生活の実現を目指します。
  4. 2026年末までの間において、Assin Fosu地区でGlicoがカカオ豆を購入している村に対し、肥料提供・営農指導を継続的に行い、農家の生産性と収入の向上を目指します。
- カカオの調達における取り組みについては、[CSRレポート](#)上で適宜報告します。

制定 2022年4月